

# サーキュラーエコノミーについて

**沖縄総合事務局経済産業部環境資源課**

＜連絡先＞

TEL : 098-866-1767 MAIL : [bzl-kankyoushigen-sline-oki](mailto:bzl-kankyoushigen-sline-oki)

# サーキュラーエコノミー（CE）とは

サーキュラーエコノミー（CE）とは、循環経済ともいわれ、あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じ、付加価値の最大化を図る経済のことです。

CEは従来の3R※の取組の発展形といわれており、近年では、「環境制約の観点」に加え、資源需要と地政学的なリスクが世界的に高まっていることなどを背景とした「資源制約の観点」からも、大量生産・大量廃棄等の一方通行の経済システムから、資源の効率的・循環的な利用と付加価値の最大化を図る「CEへの移行」が喫緊の課題となっています。

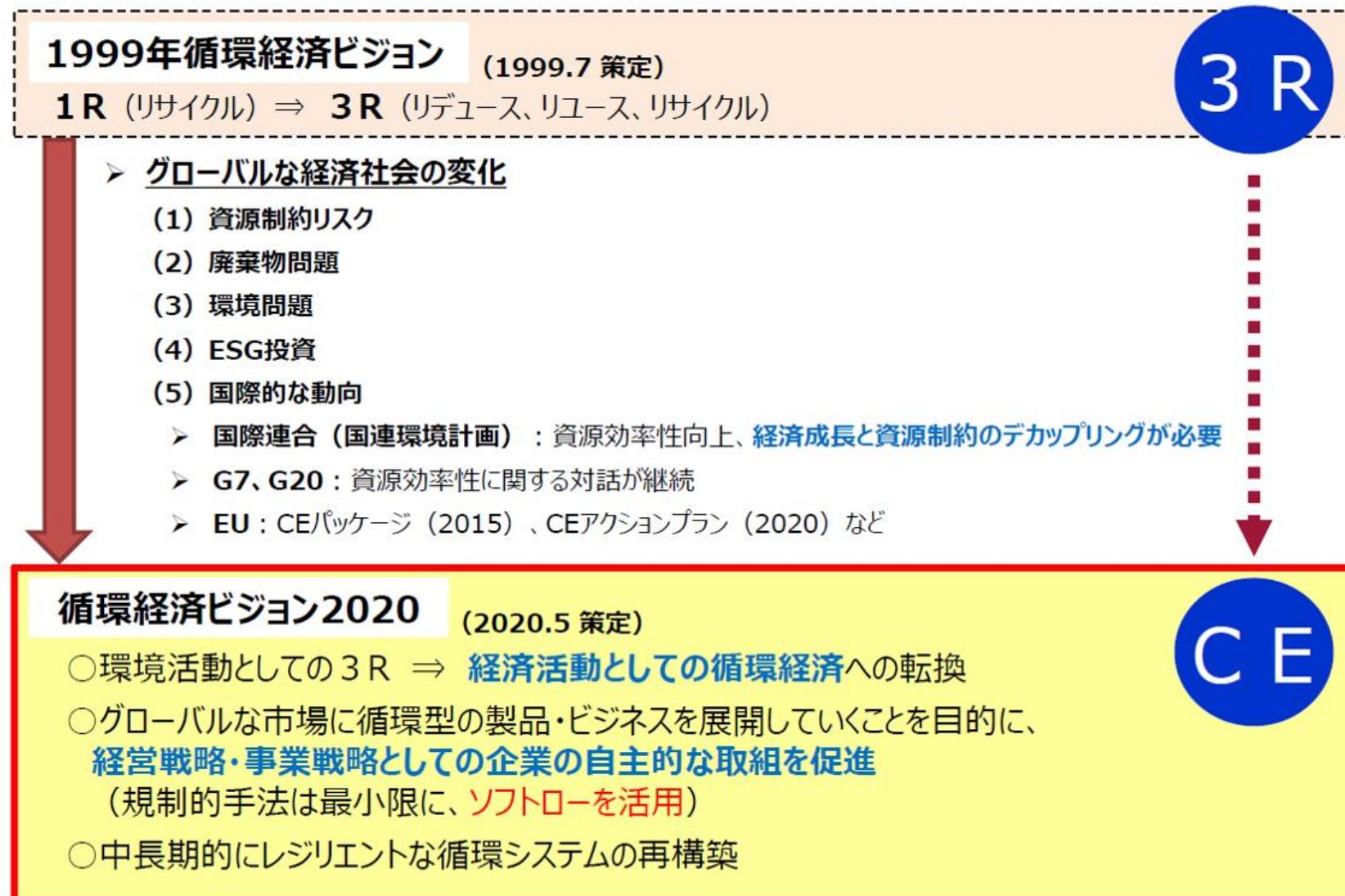
※従来の3Rとは、リデュース（Reduce：減らす）、リユース（Reuse：繰り返し使う）、リサイクル（Recycle：再生して使う）の3つの取組の頭文字をとったもので、これにリフューズ（Refuse：不要なものを使用しないことで廃棄物自体を発生させないこと）」を加えて「4R」ともいわれます。

## 線形経済と循環経済（CE）

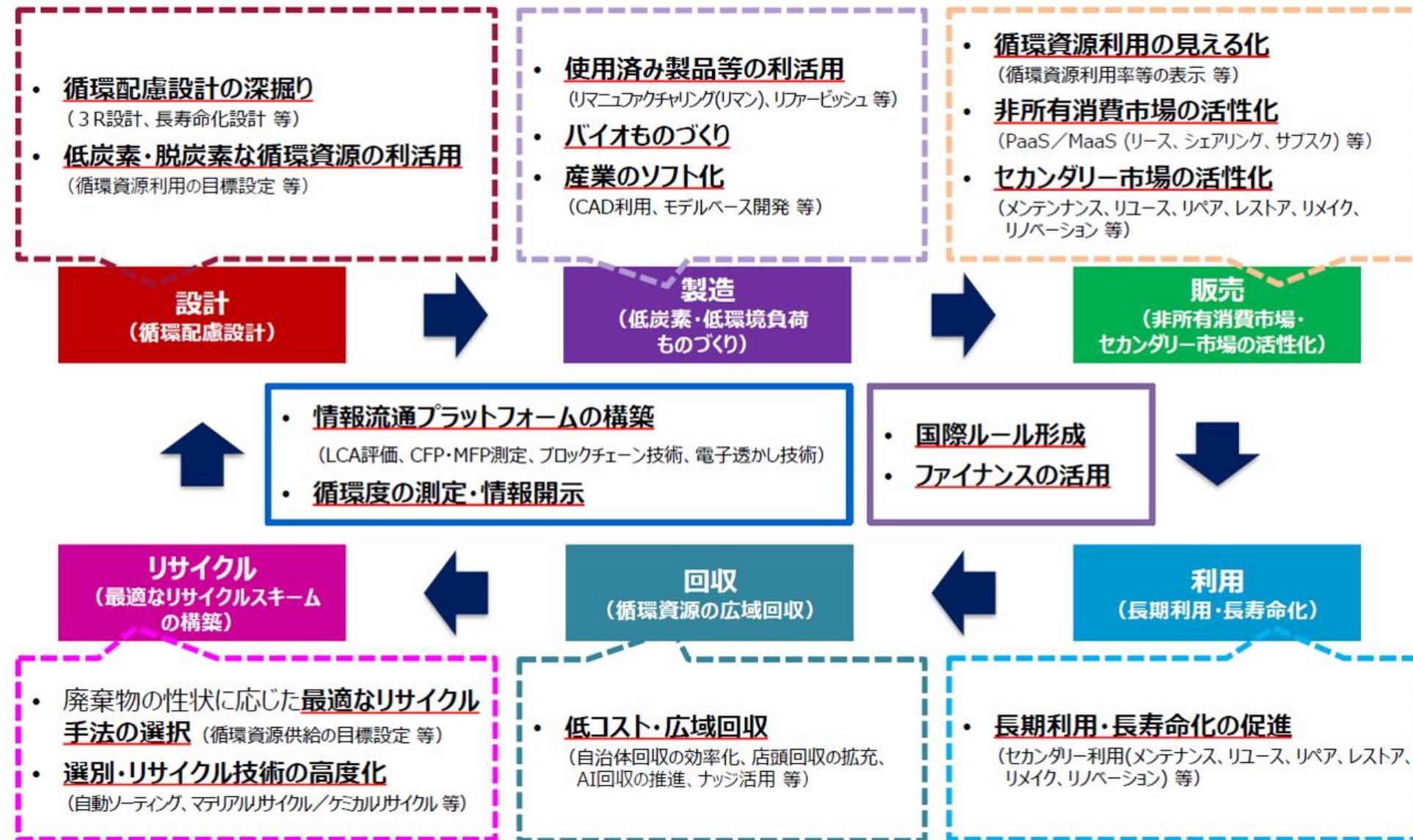
◆ 線形経済：大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行の経済  
※調達、生産、廃棄といった流れが一方向の経済システム

◆ 循環経済：あらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じ、付加価値の最大化を図る経済

# CEへの転換の必要性



# ライフサイクル全体での動脈産業の連携の理想像（イメージ）



【出典】資源循環経済小委員会（第1回：資料5抜粋）

# 廃棄物対策・リサイクル制度の全体像

廃棄後の処理が問題化している個別物品については、個別リサイクル法を整備。基本的枠組みとしての循環型社会形成推進基本法や、3R全般の取組を促進する資源有効利活用促進法も整備。

